

# なとり

第 153 号

2016.2.1

# 市議会だより



熊野那智神社から拝すご来光。穏やかな年になりますよう  
お祈り申し上げます。

12  
月  
議会  
ライン

市政のここが聞きたい	一般質問	P 2
7回目の議会懇談会を開催	議会懇談会	P 5
個人番号カードの利用について	条 例	P 6
ふるさと寄附金ほか一般寄附金の状況は	補正予算	P 7
仙台分水料金改定の内容は	補正予算	P 8
愛島台造成緑地の土地利用について	議員協議会	P 10
現地調査報告	常任委員会活動報告	P 12

# 一般質問

## 市政のことが聞きたい

「一般質問」は市の執行部に対し、政策提言や事務の執行状況についてたずねるものです。本定例会における一般質問は12月7日及び8日の2日間行われ、6人の議員から20事項、55項目の質問がありました。各議員の一般質問のうち、1項目を掲載しました。なお、掲載項目以外については、その他の一般質問として項目のみ掲載しています。

大友康信 議員 ..... P 2

・ビッグデータの分析と活用について

小野寺美穂 議員 ..... P 4

・貧困と格差の拡大について

山田司郎 議員 ..... P 3

・中小企業の活性化について

菊地 忍 議員 ..... P 4

・視覚障がい者への支援について

大沼宗彦 議員 ..... P 3

・関上の復興と市内のバランスあるまちづくりについて

今野栄希 議員 ..... P 5

・市長の公約について



▲地域経済分析システム「リーサス」のホームページ

**議員** リーサスは内閣直属のまち・ひと・しごと創生本部からインターネット上に一般公開されている地域経済分析システムである。国の統計調査や企業情報などが整理され、ビッグデータで多様な側面から自治体ごとの人や物の動向の分析ができ、産業・人口・観光・自治



大友康信 議員

**市長** これまで活用してきた国勢調査や経済センサスなどの内容が大きく変わらないため新たなチーム編成は考えていない。  
**議員** 情報は整理・分析・活用次第で非常に

体比較という大きな4つのマップメニューで構成されている。今後は医療情報やNTTドコモの情報など、さまざまな情報が次々と拡充されていく。  
リーサスの活用について分析・研究できるチームを編成すべき。

**市長** リーサス活用は強力な武器になる。市民が本市を分析研究できるようリーサスを周知して、政策提案の公募をすべき。  
**議員** リーサス活用は地方創生・政策アイデアコンテストは国レベルで実施されている。リーサスを挙げてビッグデータの分析・活用に取り組める環境を整備すべき。

### 地域経済分析システム「リーサス」の活用について

答より実態に即した市政運営に努める

- ▽ その他の一般質問
- ▽ 水難事故防止について
- ▽ 震災不明者の捜索のあり方について
- ▽ 名取市地域防災計画について

**市長** ビッグデータが全てを網羅するものではないが、それぞれの分野で、経験のみに頼ることなく客観的なデータ分析を踏まえた検討を行うことで、より地域の実態に即した市政運営に努めていく。

# 中 小企業振興基本条例を 制定して活力あるまちを！

## 答 条例がなくても理念で 進めている



山田司郎 議員

**議員** 中小企業は、地域の経済や雇用を支える中心的役割を担う存在であり、活力ある地域づくりをするために、中小企業の活性化は欠かせない。  
**市長** 理念条例は、あつて邪魔にはならない。

が、条例を制定するまでもなく十分な手だてを行っている。

**議員** 条例制定が目的ではなく、中小企業が元気になることで、活力ある地域をつくることが最終目標である。  
条例は、事業者・行政・地域が一体となつて活性化を図っていくという理念を共有するための「地域版経営指針」である。「理念なき経営」では、心もとないと言わざるを得ない。やはり条例制定は必要ではないか。  
**市長** 条例制定は、何かを縛り、制約をかけることになる。条例がなくても、理念に基づ



▲仙台市中小企業活性化条例のパフレット



▲中小企業憲章

いて中小企業の振興策を進めている。

**議員** 逆である。制約をかけるためではなく、理念を共有して、活力あるまちを一緒に作り上げていくための条例である。条例制定はスタートラインである。市として理念を持つて取り組んでいることと思うが、本当にその理念が市民や事業者に共有されているのか。事業者等とのネットワークづくりをどのように進めるのか。  
**市長** 企業間の情報交換の場を広めたい。

＜その他の一般質問＞  
▽定住促進に向けた取り組みについて

# 「全 会一致採択」を市政に どう生かすのか

## 答 総合的に判断し、結論を出した



大沼宗彦 議員

め、3次募集を行つており、ほぼ募集数に達する状況である。  
これまで説明してきた計画に基づき、整備を進めていきたい。

**議員** 用途廃止方針を明らかにした市営住宅名取団地での復興公営住宅建設は実施しないのか。

**市長** 「名取市公営住宅等長寿命化計画」において、既存の市営住宅と今後整備する復興公営住宅を含めた「市営住宅の目標ストック数の確保」と、「市営



▲現在の市営住宅名取団地

住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を図る」観点から、名取団地での復興公営住宅建設は実施しないこととした。

**議員** 平成24年に提出された「名取市営住宅の早期建設を求める請願」を市議会が全会一致で採択した。この政治的意味を市政にどう生かすのか。

**市長** 請願に対して、どのような対応を行うことが最良かという検討は、常に行っている。「全会一致採択」は重く受けとめているが、市として総合的に判断し、結論を出した。

＜その他の一般質問＞  
▽市の文書等及び市民とのコミュニケーション効果について  
▽仮設住宅での暮らしの改善について  
▽国民健康保険税の滞納問題について

# 子供の貧困対策として給付型奨学金制度の創設を

## 答 継続的財政支出等課題が多く困難



小野寺美穂議員

**議員** 広がる貧困と格差をどう捉えているか。

**市長** 国全体の相対的貧困率は、平成24年には過去最高の16・1割となつている。特に若い世代の方々が生活が苦しいと感じているものと捉えている。

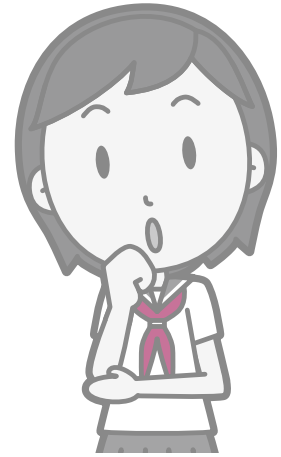
**議員** 本市の貧困率は、

**市長** 市独自では算出していない。全国的な

状況と同様の傾向にあると認識している。

**議員** 日本ではワーキングプアが特徴的に多い。派遣法改悪で生涯派遣という状況も生み出されようとしている。また、非正規雇用が4割に達する異常な状況だ。市の地方創生計画案でも非婚化・晩婚化が課題とされていたが、結婚したくてもできないのが現実である。平成26年度決算においても、生活困窮、無財産による不納欠損が増加している。子供の貧困は更に深刻で、16・3割である。市が特に意を用いている点は、

**市長** 子供が貧困に至る過程で、養育者から



の虐待を受けている場合なども少なくない。事態が深刻化する前に介入を試み、子供の心身に被害が及ばないよう取り組んでいる。

**議員** 親の経済格差は子供の学力格差に直結している。給付型奨学金制度を創設すべき。

**市長** 教育の機会均等を保障するための非常に有効な施策の一つと考えているが、継続的な財政支出、支給対象や判断基準等の課題が多く、市単独で取り組むことは困難である。

〈その他の一般質問〉  
 ▼子ども・子育て支援新制度について  
 ▼被災者支援について

# 日常生活用具給付等事業に大活字図書を加えるべき

## 答 対象品目として追加していきたい



菊地 忍 議員

**議員** 文字・活字文化振興法が制定されてから10年を迎えたが、弱視の人や高齢者が読みやすい大活字本のさらなる普及が求められている。

通常の1冊の内容を大活字本に収めるとページ数がふえ、3冊程度必要となることなど、

購入費用が割高になるという側面がある。

そこで、平成26年5月厚生労働省は生活用品を必要とする障がい者の暮らしを支援する「日常生活用具給付等事業」の一覧に、大活字図書や、音声と画像で読書ができるデジタル録音図書（デジタル図書）を明記した。

本市でも、日常生活用具給付等事業の対象品目に、大活字図書、デジタル図書を加えるべきと考えるがどうか。

**市長** 国が示す日常生活用具参考例で新たに加えられたものの、要望がなかったこともあり、現在の要綱では対象品目としていなかった。

しかし、この給付事業は利用者の状況等に依りて柔軟に実施できる仕組みとしていることから、対象品目として追加していきたい。

**議員** 要綱の見直しはいつ行うのか。

**市長** 準備が整い次第整備したい。

**議員** 大活字本により読書の喜びを実感してもらつたため、図書館の蔵書を増やす必要があると考えるがどうか。

**教育長** 毎年40冊ほど購入しており、利用の促進を図っていきたい。



▲名取市図書館の大活字本コーナー

〈その他の一般質問〉  
 ▼名取市被災者生活再建推進プログラムについて

**議員** 市長在任3期目の自己評価は。

**市長** 評価は自分で行うことでなく、市民からいただくものである。都市としての進捗は。

**議員** がん治療の拠点

**市長** 今後、実現へ向け可能性を探っていく。

**議員** メガソーラーの誘致の進捗は。

**市長** 愛島台メガソーラー発電事業等は順調に進んでいる。



今野栄希 議員

## 市長公約についての評価は

答 公約実現に向け任期を全うする

**議員** 閉上海浜エリア整備の進捗は。

**市長** 年度内にフィッシャリーナ施設の斜路工事に取りかかる。

**議員** 公約の実現に向けて推進すべき。

**市長** 具現化の道筋はつけることができた。

**議員** 東北最大のポードウォーク整備、海浜プールの復活を任期中に達成できるのか。

**市長** まちづくりが進んだ後、再度挑戦したい。

**議員** 達成できなかつた公約についての考えは。平成22年第2回定例会で貞山運河博物館を建設し、新堀と中貞山運河を架橋で連結し、渡し船を運行すれば、



▲愛島台メガソーラー発電所

井土浦等とつながりが構築でき、仙台市と本市の絆が深まると考えるとの一般質問に対し、市長は、極めて夢のある提言であり、事業化の可能性を探っていくとのことであったが、どうか。

**市長** 残された任期で震災復興まちづくりや閉上海浜エリアの整備等事業の推進と、河川防災ステーション建設で自然を生かしたまちづくりに取り組んでいく。

- ▽その他の一般質問
- ▽東日本大震災について
- ▽仙台空港の民営化について
- ▽町内会・自治会への加入促進について
- ▽国際交流について

# ご来場ありがとうございました！ 議会懇談会を開催しました



議会懇談会は、市議会の活動状況を地域に出向いて直接市民の皆様へ報告・説明し、議会に対する意見や市政に対する提言などをお聞きすることにより、市議会の一層の充実を図るとともに、市民の皆様との意見交換を積極的に進めることを目的に、平成21年度から開催しているものです。7年目を迎えた今回も、議員21人が3班に分かれ、震災復興の状況、平成27年9月定例会の報告、地域の課題をテーマに各会場を回りました。4日間で延



べ231人の方にお越しただき、244項目のご意見やご要望等を伺うことができました。伺ったご意見等については、調査・検討を行い、市当局に対して必要な提言等を行いました。

報告書を各公民館と仮設住宅集会所に設置しましたのでごらんください。

また、市議会ホームページでもごらんいただけます。

# 条例・補正予算等審議

今期定例会では、条例9カ件、補正予算7カ件、その他の議案12カ件など、計31カ件の議案について審議を行いました。

主な質疑の内容について掲載しております。なお、全ての議案の審議結果については、11ページの議案審議結果をごらんください。

## 条 例

**個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例**

**概要** 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）」に基づく個人番号の利用や特定個人情報の提供に関し、必要な事項を定めるものです。

### 本会議審議

**データの管理について**

**議員** 庁内連携のデータ管理や漏えい対策は。

**課長** IDでアクセスの範囲を設定し制限している。デジタルデータの連携は閉鎖された基幹系システムのみで行う。庁内では機械的につながっているが、庁外にはつながっていない。

**市民への周知について**

**議員** 申請しない選択肢があることや不審電話への対策のPRは。

**課長** 広報なとり平成27年12月号でも申請は任意であり、必要なときに申請する

ようPRしている。詐欺まがいの電話についても同様にPRしている。



▲全世帯へ送付された通知カード（見本）

**住民基本台帳カード利用条例の一部改正**

**概要** 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の施行等に伴い、必要な改正を行うものです。

### 本会議審議

**利便性の担保について**

**議員** 個人番号カード移行に際し、住基カードでの利便性をどう担保するのか。

**課長** 自動交付機は、平成28年9月で終了する。平成28年6月からコンビニ交付を予定している。個人番号カードを取得すると住基カードは失効するため、手続きも含めて案内している。

**議員** 周知方法は。  
**課長** 住基カードで多目的利用をしている方々には個別に通知し、広報なとりでも周知を行った。



▲平成28年9月にサービスが終了する証明書自動交付機

**市税条例等の一部改正**

**概要** 地方税法等の改正に伴う猶予制度の見直しやマイナンバー法の公布に伴う市税の申告書の記載事項等について、必要な改正を行うものです。

### 本会議審議

**改正の影響について**

**議員** 不納欠損や時効の取り扱いに変更はあるのか。  
**課長** 変更はない。

**議員** 納付者への影響は。  
**課長** 猶予額や期間を明文化して、納税者にわかりやすくしたと捉えている。

**市民への周知について**

**議員** 周知の方法は。  
**課長** 具体的な検討はして

いない。納税相談の際には説明が必要と考えている。市民へは、ホームページや広報なとりへの掲載、チラシ等で周知に努めたい。

**市立幼稚園設置条例の一部改正**

**概要** 下増田幼稚園及び愛島幼稚園の廃止に伴い、必要な改正を行うものです。

### 本会議審議

**市立幼稚園廃止に関する説明会について**

**議員** 廃止の考え方をどのように住民に伝えたのか。

**部長** 廃止時期や廃止後の施設利用について保護者や住民への説明会を実施した。  
**議員** 参加者からの意見は。  
**教育長** 児童センターへの転用や幼稚園の存続を求める意見があった。

**市立幼稚園廃止の理由について**

**議員** 廃止の理由は。  
**部長** 設置当初の目的を達成したからである。廃止後は私立幼稚園で幼児の受け入れが可能である。

**議員** 市立幼稚園はまだ必要ではないか。

**部長** 保護者の経済的負担が軽減され、地域間格差も解消されており、総合的に判断して廃止を決定した。



▲平成27年度末で廃止となる  
愛島幼稚園

### 児童厚生施設条例の一部改正

**概要** 平成28年4月に下増田児童センター及び愛島児童センターを設置することについて、必要な改正を行うものです。

### 本会議審議

### 下増田児童センターの運営について

**議員** 下増田児童センターは幼稚園舎と児童厚生施設との2棟ある。運営の内容は。  
**課長** 運営は業務委託を継続したい。ハード面は渡り廊下を整備し、自由来館と分けず一体と考えている。

児童厚生施設は放課後児童クラブ専用と考えているが、登録児童数の推移を見て調整したい。



▲児童センターとして一体的に運営される  
下増田幼稚園(右)と児童厚生施設(左)

### 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

**概要** 保健師や看護師に加え、准看護師も保育士とみなすことができる旨の関係省令の改正を受け、必要な改正を行うものです。

### 本会議審議

### 職員の配置について

**議員** 職員配置の実態は。  
**課長** 小規模保育事業所は、A型4力所ですべて有資格者を5人以上配置している。B型1力所は有資格者4人と幼稚園教諭免許保持者1人だが、保育士資格取得のため受講中である。

**議員** 家庭的保育事業所は。  
**課長** 幼児5人当たり2人の保育士が必要だが、有資格者6人を配置している。

### 雇用形態について

**議員** 准看護師を保育士とみなすことによる影響は。  
**課長** 看護師等だけでなく保育士もいるため、対応可能である。

**議員** 事業所の雇用形態は。  
**課長** 一部を除きほとんど1日8時間のフルタイムである。正社員・契約社員の区別は捉えていない。

## 補正予算

### 一般会計歳入

### 市民税法人分について

**議員** 減額の内容は。  
**課長** 法人数は、平成27年9月末で1863法人と当初見込みより多いが、従業員数が減るなどして均等割り額が減ったことが減額の要因である。

### 一般寄附金について

**議員** 全体の件数及びクレ

ジット決済の件数は。

**課長** 災害復興寄附金が10件116万円、震災遺児孤児寄附金が8件102万円、ふるさと寄附金が7041件93113万円である。ふるさと寄附金のクレジット決済の割合は約85%である。



▲名取ふるさと寄附サイト

### 庁舎非常用発電機設備増設設計委託料について

**議員** 内容は。

**課長** 庁舎耐震補強工事にあわせて庁舎内の不足する電源を補うために、発電機を追加で設置する。コンセントや照明、動力の配線及び分電盤の容量の設計を委託する。

災害対策本部を設置する議会棟の委員会室等に供給する電力など、必要な電力量を見積り、不足分を自家発電機で補う。



▲耐震補強工事が行われている  
市役所庁舎

### 新規魚種漁獲方法等調査委託料について

**議員** 内容は。

**課長** 所得安定のため、新たにシラスやコウナゴの漁業者を支援する。

**議員** 委託料に漁獲方法の研修費等は含まれるのか。

**課長** 研修会等の費用も含まれている。

**議員** 新たな地域ブランドを創出する事業となるのか。

**課長** 漁獲したシラスを水産加工業者に新しく商品化してもらおうなど、閉上赤貝、笹かまぼこに続く、第三の地域ブランドを創出することも、本事業の狙いである。

### 高館山周辺整備駐車場改良工事について

**議員** 増額の内容は。

**課長** 敷地面積が499平方メートルと当初予定の約

5倍となり、駐車台数も20台程度とふえるほか、雨水排水設備工や土留め工が必要になったことなどによる増額である。

**議員** 看板等の設置は。

**課長** 駐車場内に看板を設置する。周辺への案内看板については、ほかの工事の進捗にあわせて検討したい。

### 水辺を活かしたまちづくり検討会 委員謝礼について

**議員** 内容は。

**課長** 国の河川防災ステーション事業・かわまちづくり事業と、本市の沿岸部の復興事業とを連携して進める必要がある。学識経験者と地元関係者、関係機関で構成する検討会を設置し、指導や助言をいただく。

### 第二中学校武道場 改築工事について

**議員** 内容は。

**課長** 掘削工事中に土中から舗装面があらわれ、撤去が必要となった。また、武道場の改築により、防災用放送設備のアンプの電気容量の不足が生じるため、改造を行う。

**議員** 竣工時期は。

**課長** 予定通り平成27年度の完成を目指す。



▲建設が進む第二中学校武道場

### 休日夜間急患 センター特別会計

**管理運営委託料について**

**議員** 増額の内容と考え方は。

**部長** 約2年間にわたり名取市医師会と給与関係について、協議を行ってきた。地域医療に協力を得ることが望ましいとの考え方から、双方が合意しての増額である。

### 被災市街地復興 土地区画整理事業 特別会計

**職員給料について**

**議員** 時間外勤務がふえた理由は。

**課長** 被災者や地権者の対

応に加え、まちづくり協議会が平日の夜に開催されていることもあり、時間外勤務がふえている。

### 水道事業会計

**受水費について**

**議員** 仙台分水料金改定の内容は。

**所長** 基本料金の単価は増額となったが、従量料金と設備料金の単価が減額となった。これらを当初予定していた水量で計算し減額となった。

**議員** 減額に伴い、水道料金の値下げは検討したのか。  
**所長** 将来の施設老朽化に対する更新計画や、経営戦略を立てた上で料金について検討する。

### その他

**工事請負契約の締結**

〔関上地区復興土地区画整理事業平成27年度設計・施工一括型工事〕

**概要** 関上地区被災市街地復興土地区画整理事業のうち平成27年度分の事業区域について、継続部分の設計及び施工を一括して発注する契約を締結するものです。

### 本会議審議

**迂回路の設定について**

**議員** 市道町頭築港線にかわる土砂運搬路は。

**課長** 県道関上港線を迂回路とし、工事終了後には通行できるようにする。

**議員** 県の復興事業等の迂回路は。

**課長** 県道関上港線と市道小塚原中央線を考えている。

**軟弱地盤技術解析について**

**議員** 内容は。

**課長** 県道のり面崩壊の危険性調査である。道路管理者と協議する上で解析が必要となる。

**議員** 技術解析を行う地点は1カ所でのよいのか。

**課長** 最も条件的に厳しい場所が基準となるよう選定した。

**土砂の搬出・運搬について**

**議員** 土砂運搬車両の運行状況は。

**課長** 1日150台で4000立方分の土砂を運んでいる。

**議員** 7カ所の土取り場か

らの搬出量比率は変わらないのか。

**課長** 当面は変わらない。



▲区画整理事業によって緑道として整備される市道町頭築港線

### 指定管理者の指定

〔みのり園〕

**概要** 指定管理者の指定期間が、平成27年度で終了することから、平成28年度からの5年間について、再度指定するものです。

### 本会議審議

**指定管理料について**

**議員** 取り扱いは。

**課長** 市から指定管理料を支払うのではなく、指定管理者には直接利用者に係る給付費が入る。



▲指定管理者制度が導入されているみのり園



# 追加議案

## その他

### 財産の取得

〔岡上地区戸建て復興公営住宅〕

**概要** 岡上宇新大塚地区に復興公営住宅として戸建て住宅25棟を取得するため、一般社団法人名取市復興公営住宅建設推進協議会と建物等の譲渡契約を締結するものです。

### 本会議審議

#### 設計の変更について

**議員** 美田園北地区復興公営住宅の見学者や居住者からの意見による改善点は。

**課長** 台所の位置や広さを変更した。雨垂れ対策で屋根を寄棟に変え、宅地の周囲を砕石敷きにした。

### 財産の取得

〔高柳地区集合復興公営住宅〕

**概要** 高柳宇辻地区に復興公営住宅として、50戸の集合住宅1棟を取得するため、独立行政法人都市再生機構と建物等の譲渡契約を締結するものです。

### 本会議審議

#### 新しいコミュニティ形成について

**議員** 敷地内に集会所がない。新しいコミュニティ形成をどう考えているのか。

**課長** 集合住宅の1階に談話スペースを設け両端に椅子を設置し、住民が交流できる場所をつくる。中央にテーブルは考えていない。

#### 集会所設置について

**議員** 集合住宅に隣接した集会所を設置できないか。

**課長** 独立した自治組織ではなく、高柳に居住の方々と一つの町内会として、高柳戸建て公営住宅に建設す

る集会所を利用してほしい。  
**議員** まちづくりとしては、民同士の交流については。

**課長** 高柳に住んでいる方々と交流できるイベントを検討したい。

#### エレベーター設置について

**議員** 建物の中央にエレベーターを設置できないか。

**部長** 利便性をよくするため、メーンの出入り口と駐車場の位置を考慮し、やや西側とした。

**議員** 中央への配置を検討しなかったのか。  
**部長** 道路や駐車場からの建物へのアプローチを考え設計位置とした。

## 第6回臨時会

**概要** 12月24日に臨時会が開催され、市長提出議案2カ件(補正予算1カ件、その他1カ件)について、原案のとおり可決しました。

### 補正予算

### 一般会計歳入

### ふるさと寄附金について

**議員** 年間見込み額に変更はあるのか。

**課長** 平成27年12月中に見込み額の3億円に到達する可能性がある。歳出では、4億5千万円までの寄附金に対する謝礼品の経費を措置した。

## その他

### 工事請負契約の締結

〔岡上地区集合復興公営住宅整備事業〕

**概要** 岡上地区に建設する復興公営住宅(集合)について、設計及び施工を一括して発注する契約を締結するものです。

### 本会議審議

#### 施工業者の選定について

**議員** 公募型プロポーザル方式に対し、何社から提案があったのか。

**課長** 2社である。  
**議員** 業者の選定方法は。  
**課長** 企業の技術力・配置予定技術者・地元企業の活用・技術提案・ヒアリングについて評価し、選定した。

#### 防災倉庫の設置場所について

**議員** 集合住宅1階の防災倉庫を上階に設置することとは検討しなかったのか。

**課長** 日常的に使用する設備や備品も収納する予定であり、棚を設ける等の工夫をしたい。また、重要な資機材については、C棟6階の集会所を活用したい。

#### 意見の反映について

**議員** 集合住宅入居予定者の意見は聞いているのか。

**部長** 300人以上の方が登録する岡上地区まちづくり協議会の意見を踏まえた提案である。

## 「名取市議会政治倫理調査会」を開催

本市議会では、議員の政治倫理の確立を図り、市民に信頼される公正で民主的な市政の発展に寄与するため「名取市議会議員の政治倫理に関する条例」(以下「政治倫理条例」)を平成23年に制定しています。

この条例に基づき、平成27年11月24日付けで、2人の市民の方から1人の議員に関し、政治倫理条例に定める政治倫理基準に違反する疑いがあるとして調査請求書が提出されました。

政治倫理条例により、名取市議会政治倫理調査会が委員5人で設置されました。(計3回開催)調査会は、調査請求者等のプライバシーを保護する観点から、会議を非公開の扱いとして、調査請求者及び調査請求対象議員から意見を聴取するなどにより、慎重に審議を行い「和解すべき」との調査報告書を12月14日、議長に提出しました。

# 議員協議会 (11/19)

## 市立幼稚園の閉園に伴う施設の転用について

市立幼稚園については、平成28年3月末に下増田・愛島が、平成29年3月末に本郷・高館が閉園になることから、今後の転用について説明がありました。

下増田・愛島の2園については児童センターとして、本郷幼稚園については子育て支援機能を複合した保育施設として、高館幼稚園については高館放課後児童クラブ実施場所として活用していくとの方針が示されました。

議員からは、空調施設やトイレなどの改修計画や、自由来館を含めた受け入れ児童数に対するスペースの確保などについて多くの発言があり、活発な議論が展開されました。

## 東日本大震災復興交付金第13回事業計画について

第13回復興交付金事業計画として国へ申請した、閉上地区内の災害公営住宅整備事業(集合住宅)並びに市街地復興効果促進事業として国との使途協議が整った、閉上地区の区画整理事業区域内における宅地盤強度調査事業及び閉上小学校仮設グラウンド整備事業について説明がありました。

議員からは、復興公営住宅の集会所施設及び避難用の外部階段の設置の考え方や仮設グラウンド整備の位置づけとスポーツエリア整備との関係、地盤強度調査方法の考え方などについて多くの発言があり、活発な議論が展開されました。

## 名取市地方創生総合戦略(中間案)について

市では、「まち・ひと・しごと創生法」の成立に伴い、将来にわたって活力ある地域社会の維持に必要な取り組みを進めるため、名取市地方創生総合戦略の策定を進めています。

今回は中間案として、今後5年間に取組むべき3つの基本目標と16の施策概要が示されました。

今後は、平成27年12月に実施されたパブリックコメントでの意見等を踏まえ、検討が進められます。

議員からは、策定における根本的な方針、パブリックコメントの募集期間、出産を希望する夫婦への支援、出生率向上への取り組みなどについて多くの発言があり、活発な議論が展開されました。

## 愛島台造成緑地の土地利用について

愛島台の造成緑地については、平成24年度に工業系への土地利用計画の変更を検討しましたが、用地造成費やアクセス道路整備費が高額となるため、保留となっています。

川内沢ダムの整備に伴いアクセス道路整備の見通しがついたことから、造成緑地61・7畝について、業務系・工業系の利用も含め、広く事業提案を募集するとの説明がありました。また、市の用地造成費負担については、提案者と協議したいとの方針が示されました。

議員からは、道路整備の内容、住民への説明、募集内容やまちづくりの考え方などについて多くの発言があり、活発な議論が展開されました。

### 陳情

- ◇バス停留所への防風パネル設置についての陳情  
(相互台自治会連合協議会)  
会長 近江 明氏
- ◇農道愛島53号線の拡幅改良整備に関する陳情  
(小豆島契約会)  
会長 大友 喜久夫氏
- ◇那智が丘二丁目歩道をアスファルト舗装からインターロッキングブロック舗装に戻すことを求める陳情  
(那智が丘地区町内会連絡協議会)  
会長 二塚 利春氏
- ◇市道七島浜田線の未着工部分の完成に関する陳情  
(下余田町内会)  
会長 中澤 仁氏 外1人
- ◇市道飯塚成田線の着工・完成に関する陳情  
(下余田町内会)  
会長 中澤 仁氏 外1人
- ◇市道鹿島草倉田線の着工・完成に関する陳情  
(下余田町内会)  
会長 中澤 仁氏 外1人
- ◇高齢者や障がい者にも優しいエレベーターのある館腰駅の実現を求める陳情  
(館腰駅にエレベーター設置を実現する会)  
代表 佐々木 勝氏 外4人

◎賛成と反対に分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対、-は欠席

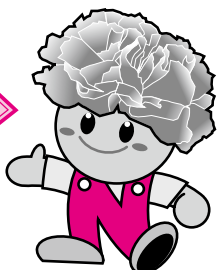
会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名(議席番号順)																		
					荒川洋平	大友康信	小野泰弘	佐々木哲男	及川秀一	大沼宗彦	佐藤正博	長南良彦	山田司郎	菊地忍	相澤祐司	小野寺美穂	丹野政喜	本郷一浩	山田龍太郎	渡邊武	今野栄希	星居敬子	相澤雅
第5回定例会	市長	議案第91号	名取市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第92号	名取市住民基本台帳カード利用条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第93号	名取市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第94号	名取市市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第95号	名取市東日本大震災復興交付金基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第96号	名取市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第97号	名取市児童厚生施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第98号	名取市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第99号	名取市放課後児童クラブ実施条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第100号	工事請負契約の締結について(名取市閑上地区被災市街地復興土地区画整理事業平成27年度設計・施工一括型工事(その2))	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第101号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第102号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第109号	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
		議案第110号	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第111号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
議案第112号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
議案第113号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
議案第114号	巨理名取共立衛生処理組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
臨時6回	議員	議案第9号	平和安全法制関連2法の廃止を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	
		議案第10号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
臨時6回	市長	議案第119号	工事請負契約の締結について(名取市閑上地区集合災害公営住宅整備事業(第1期)設計・施工一括型工事)	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

◎全員が賛成したもの

会議名	提出者	議案番号	件名	会議名	提出者	議案番号	件名
第5回定例会	市長	議案第103号	平成27年度名取市一般会計補正予算(第5号)	第5回定例会	議員	議案第115号	財産の取得について
		議案第104号	平成27年度名取市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)			議案第116号	財産の取得について
		議案第105号	平成27年度名取市休日夜間急患センター特別会計補正予算(第2号)			議案第117号	平成27年度名取市一般会計補正予算(第6号)
		議案第106号	平成27年度名取市被災市街地復興土地区画整理事業特別会計補正予算(第5号)			議案第118号	行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の事務の委託について
		議案第107号	平成27年度名取市水道事業会計補正予算(第1号)	臨時6回	市長	議会案第11号	東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書
		議案第108号	平成27年度名取市下水道事業等会計補正予算(第1号)			議案第120号	平成27年度名取市一般会計補正予算(第7号)

今期定例会の傍聴者数は、  
延べ **62人** でした。  
平成28年2月定例会は  
**2月23日(火)**  
開会予定です。



議会だより第152号の13ページ「児童・生徒への指導の実態について」の課長答弁の記述に誤りがありました。おわびして訂正します。

【誤】  
課長 不登校で…(省略) 器物損壊で小学校5件、中学校2件であった。

【正】  
課長 不登校で…(省略) 器物損壊で中学校2校で5件であった。

**おわびと訂正**

# 民生教育

委員長	山田 司郎	副委員長	大沼 彦一
委員	山田 信康	委員	大沼 喜一
委員	大友 相澤	委員	大沼 政希
委員	渡邊 武	委員	大沼 栄治
委員	星居 敬子	委員	大沼 郷内

# 総務建設

委員長	小野寺 美穂	副委員長	佐々木 哲男
委員	小野寺 正博	委員	木野 弘彦
委員	佐藤 龍太郎	委員	南 良一
委員	菊地 山田	委員	郷 浩
委員	山口 龍太郎	委員	本 相

## 12月定例会 常任委員会現地調査報告

初めに、拡幅改良整備を求め、陳情が提出された農道愛島53号線について調査を行いました。生活道路として利用されている道路の現況や境界確認によって設置された境界くいの位置などについて確認を行いました。市当局からの聞き取り調査では、農道整備は市の単独事業となり、地元からの用地の協力を前提としていることや、隣接する墓地が整備されても、現在の幅員は確保されるとの説明を受けました。市当局に対しては、整備に必要な全体像を示すために調査を

初めに、陳情箇所6カ件に係る調査を行いました。相互台のバス停への防風パネル設置を求める陳情については、設置管理者である宮城交通株式会社に要望を伝えて意向確認し、その意向を踏まえ、庁内で協議した結果を住民へ伝えるよう求めました。那智が丘二丁目の歩道をインターロッキングブロック舗装に戻すことを求める陳情については、すぐに戻すことは予算上難しいと考えるが、市が許可した経緯もあることから、関連業者

実施するよう求めました。このほか、平成27年9月の台風18号の豪雨災害によって路面が陥没し、災害復旧工事を行う農道、施設の管理運営の一部が業務委託される農村婦人の家、高館山周辺整備駐車場改良工事箇所について、現地調査を行いました。次に、地方創生における本市の水産振興の取り組みについて所管事務調査を行いました。閉上赤貝のブランド力向上のほか、閉上赤貝に次ぐ新たな水産ブランド育成のための事業について説明を受けました。

等との協議を踏まえ検討すべきであり、その経過を住民に説明するよう求めました。七島浜田線、飯塚成田線、鹿島草倉田線の市道3路線の完成を求める陳情については、用地買収が完了していることもあり、地元への丁寧な説明を行いながら早期に着工・完成することを求めました。エレベーターのある館腰駅の実現を求める陳情については、駅周辺のバリアフリー化に係る計画についての確な時期を捉え策定し、関係機関との調整経過を適宜地域住民に説明を行うよう求めました。



▲陳情箇所の境界くいを確認する委員



▲陳情箇所の歩道を確認する委員

その後、意見書案2カ件の審査を行いました。

その後、意見書案1カ件の審査を行いました。

## 編集後記



本年は震災から丸5年となり、ことしこそ未来に光り輝く希望の年となるよう願ってやみません。議会広報特別委員会

は、平成24年2月から4年間「議会だより」の発行を担当してまいりました。議会改革にあわせ、わかりやすい紙面を基本に、ヘッドラインや条例の概要を入れるなど試行錯誤しながら、親しみやすく、より理解いただけよう取り組んでまいりましたが、いかがでしたでしょうか。

次回の「議会だより」は改選された新しい議員による発行となりますが、今後とも愛読いただきませうようお願いいたします。

- 委員長 星居 敬子
- 副委員長 荒川 洋平
- 委員 小野 泰弘
- 委員 及川 秀一
- 委員 大沼 宗彦
- 委員 佐藤 正博
- 委員 山田 祐司
- 委員 相澤 祐司